



町長日誌

No.266

町長日誌の第266号です。町長が日頃町民の皆さんと話したことや色々な出来事を
町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

12月11日（木曜日）PM3:00

今日から二日間の日程で今年最後の第4回定例議会が始まりました。多くの傍聴者が来場され、午前中は3名の議員から一般質問がありました。それぞれが今後の町政にとって重要なテーマであり、来年度予算にも関係する内容でした。今回の傍聴者は女性が多く「また、来ようかな」という声も聞かれました。平日なので、お仕事の方も多いと思いますが、議会では何を話し合っているのか多くの皆様に見て頂きたいと思っています。議会が終わると、来週16日（火曜日）から名寄市立総合病院・旭川医大・札幌医大・北海道地域医療振興財団へ挨拶回りに出向きます。すでに来年度の医師派遣が決まりましたので、そのお礼も兼ねての暮れのご挨拶です。その後、道庁建設部と一緒に東京に向かい来年度の道路関係予算のお礼に関係議員を回ります。また、24日には畜産酪農対策が19日に決まるところから午前中に農林水産省にお礼のご挨拶、午後には雪印メグミルク本社で社長と面談の予定で、生産中止の撤回を強く要望する予定です。さて、国が行う経済対策ですが、他町では12月議会で決めるところもありますが、本町は1月の臨時議会で内容を決める予定です。国から示されている予算は約8千万円程度とあまり大きな予算ではないので、どのような配分が効果的か思案しているところです。

11月29日（土曜日）

紋別市で「オホーツク海と流氷の勉強会」が開催されました。この勉強会は気象庁と海上保安庁の合同開催です。流氷とオホーツク海の気象について二つの省庁が一緒に説明することは初めてのことだと思います。実は、流氷の状況（氷の厚さや大きさなど）は人工衛星では細かなところまでは解らず、紋別のオホーツクタワー、漁協などの現場の情報を元にして詳細な流氷情報を作成しているとのことでした。以前、漁業者から聞いた話では「毛ガニ漁の始まりの時期には海中にある氷塊が漁の妨げになる、ぶつかれば船が破損する」と言う事でした。つまり海中に沈むような流氷はレーダーなどでも把握できないことから気象庁が発表している流氷情報は安全面も考慮して少しオーバーな形で表現された情報となっているとのことでした。しかし、流氷の多い少ないが海中のプランクトン発生量などにも影響することから、参加した漁業関係者からは様々な質問が出されました。

12月6日（土曜日）

札幌市内で札幌医大放射線治療学科教授の就任祝賀会に出席しました。放射線治療学科は興部国保病院に堀先生が院長として赴任されてから、当時の晴山教授がご縁があった「堀を応援してやれ」と言ってくださったことから土日の宿日直医としてこれまで20年近く応援していただいています。この度、就任された染谷教授は堀院長と医大の同期と言う事もあってお祝いに駆け付けました。こんなに長い期間派遣して頂けることは大変にありがたく、お陰で常勤医師の休みも確保できているのです。



さて、この日誌が読まれる頃は皆様お揃いで新年をお迎えのことだと思います。

今年も一年間お世話になりました。令和8年午年が素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶は広報「年頭のご挨拶」に代えさせて頂きます。どうか良いお年を！では、また来年。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131です。

